



2026年7月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年9月10日

上場会社名 株式会社ベストワンドットコム 上場取引所 東
コード番号 6577 URL <http://www.best1cruise-corp.info/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野本洋平
問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員経営企画部長 (氏名) 国門量祐 TEL 03-5312-6247
定時株主総会開催予定日 2026年10月28日 配当支払開始予定日 2026年10月29日
有価証券報告書提出予定日 2026年10月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年7月期の連結業績 (2025年8月1日～2026年7月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期	2,906	14.3	336	—	345	—	233	—
2025年7月期	2,543	△18.9	29	△88.9	27	△90	9	△96.2

(注) 包括利益 2026年7月期 227百万円 (2,288.3%) 2025年7月期 9百万円 (△96.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年7月期	154.77	153.72	18.9	8.7	11.6
2025年7月期	6.31	6.19	0.8	0.8	1.2

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年7月期	3,921	1,348	34.2	887.17
2025年7月期	4,012	1,147	28.4	754.70

(参考) 自己資本 2026年7月期 1,340百万円 2025年7月期 1,140百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年7月期	274	△310	△421	2,195
2025年7月期	△186	△13	1,115	2,624

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年7月期	—	0.00	—	18.00	18.00	27	285.3	0.7
2026年7月期	—	0.00	—	30.00	30.00	45	19.4	1.2
2027年7月期(予想)	—	0.00	—	21.00	21.00		—	

2026年7月期期末配当金の内訳 普通配当 30円

3. 2027年7月期の連結業績予想（2026年8月1日～2027年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)									
	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当 期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,555 ～3,227	△12.1 ～11.0	81 ～161	△75.9 ～△52.2	76 ～156	△78.0 ～△54.9	49 ～103	△79.0 ～△56.0	32.43 ～68.17

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ―社（社名） 、除外 ―社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年7月期	1,524,700株	2025年7月期	1,524,700株
② 期末自己株式数	2026年7月期	13,816株	2025年7月期	13,789株
③ 期中平均株式数	2026年7月期	1,510,884株	2025年7月期	1,508,970株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年7月期の個別業績（2025年8月1日～2026年7月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期	2,875	14.3	324	—	335	—	228	—
2025年7月期	2,514	△19.2	20	△92.2	21	△92.2	5	△97.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期	150.99	149.96
2025年7月期	3.75	3.68

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年7月期	3,786	1,347	35.4	886.58
2025年7月期	3,872	1,151	29.6	757.89

(参考) 自己資本 2026年7月期 1,339百万円 2025年7月期 1,145百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご了承ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調で推移した一方、物価上昇の継続や為替・地政学リスク等により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

クルーズ業界におきましては、世界的なクルーズ人口の拡大が続いており、CLIA（国際クルーズ協会）の見通しでは2029年に世界のクルーズ人口は4,210万人に達すると予測されるなど、市場は中長期的な成長局面にあります。国内においても、日本人のクルーズ人口は2025年の約24.3万人から2030年に約100万人への拡大が見込まれており、需要の裾野は着実に広がっています。

このような環境のもと、当社グループは「クルーズをもっと身近に」という方針のもと、Webマーケティングを軸とした集客力の強化と、付加価値の高いチャータークルーズ・テーマ性のある企画クルーズの拡充に取り組んでまいりました。当連結会計年度においては、2026年ゴールデンウィーク発のチャータークルーズをはじめとする先付け案件の獲得に向けて広告宣伝への先行投資を実施いたしました。

販売面では、当該広告宣伝への先行投資により販売費及び一般管理費は前年同期比で増加したものの、ゴールデンウィーク発のチャータークルーズの販売が計画を大きく上回ったことにより、売上総利益は前年を大きく上回りました。この結果、第3四半期連結累計期間まで損失が先行していた業績は第4四半期にかけて大きく好転し、通期では営業利益及び経常利益において過去最高となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,906,982千円（前年同期比14.3%増）、営業利益336,637千円（前年同期比1,053.1%増）、経常利益345,651千円（前年同期比1,139.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益233,837千円（前年同期比2,356.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<旅行業>

クルーズ販売を中核とする旅行業におきましては、ゴールデンウィーク発のチャータークルーズ等の先付け案件の獲得に向けて広告宣伝の先行投資を継続する一方、当該チャータークルーズの販売が計画を大きく上回りました。この結果、売上高は2,875,452千円（前年同期比14.8%増）、セグメント利益（営業利益）は323,747千円（前年同期比1760.2%増）となりました。

<その他事業>

子会社のえびす旅館におきましては、引き続きインバウンド需要が継続しており、ADR（客室平均単価）、稼働率が想定通りに推移しております。

この結果、売上高は31,530千円（前年同期比19.6%減）、セグメント利益（営業利益）は12,890千円（同9.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ90,854千円減少し、3,921,725千円となりました。これは主に、投資有価証券が245,896千円、旅行前払金が98,009千円増加した一方、現金及び預金が313,777千円、その他流動資産が115,258千円減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債総額は、前連結会計年度末に比べ292,022千円減少し、2,573,517千円となりました。これは主に、未払法人税等が81,098千円増加した一方、長期借入金が353,453千円、1年以内返済長期借入金が42,112千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ201,168千円増加し、1,348,207千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益を233,837千円計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における各キャッシュ・フローとその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金収支は、274,505千円の収入（前連結会計年度は186,555千円の支出）となりました。これは主に、旅行前払金の増加98,009千円、利息の支払額23,454千円があったものの、税金等調整前当期純利益338,336千円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金収支は、310,932千円の支出（前連結会計年度は13,815千円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入12,456千円があった一方、投資有価証券の取得による支出270,572千円、有形固定資産の取得による支出28,764千円、及び無形固定資産の取得による支出23,252千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金収支は、421,661千円の支出（前連結会計年度は1,115,655千円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入100,000千円があった一方、長期借入金の返済による支出495,565千円、親会社による配当金の支払額27,119千円があったことによるものであります。

以上により、当連結会計年度における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ429,341千円減少し、2,195,162千円となりました。

(4) 今後の見通し

2027年7月期（通期）の連結業績予想につきましては、売上高2,555百万円～3,227百万円（前年同期比12.1%減～11.0%増）、営業利益81百万円～161百万円（前年同期比75.9%減～52.2%減）、経常利益76百万円～156百万円（前年同期比78.0%減～54.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益49百万円～103百万円（前年同期比79.0%減～56.0%減）を予想しております。

2027年7月期におきましても、日本発着外国船を中心としたクルーズ商品の販売強化や、規模を抑えたチャータークルーズの実施等により、着実な収益確保に取り組んでまいります。もっとも、中東情勢をはじめとする地政学リスクや為替変動等の不確定要素により、クルーズ需要そのものの強弱が左右される可能性があり、現時点において、正確な業績予想を行うことが困難な状況です。そのため、当期の業績予想についても幅を持たせて開示することといたしました。需要が堅調に推移した場合は上限の数値を達成することが可能であると考えている一方、中東情勢の悪化をはじめとする外部環境の変化によりクルーズ需要が減退した場合には、下限の数値になる可能性もあると考えております。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当連結会計年度 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,503,182	2,189,404
旅行前払金	674,915	772,925
未収入金	125,830	128,293
未収還付法人税等	12,441	-
その他	138,938	23,680
流動資産合計	3,455,308	3,114,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	78,378	78,378
工具、器具及び備品	1,920	2,125
土地	76,651	76,651
建設仮勘定	-	28,400
減価償却累計額	△24,293	△27,769
有形固定資産合計	132,656	157,786
無形固定資産		
ソフトウェア	39,203	42,838
ソフトウェア仮勘定	57,732	59,484
のれん	29,254	17,959
無形固定資産合計	126,190	120,282
投資その他の資産		
投資有価証券	197,231	443,127
その他	99,441	85,683
投資その他の資産合計	296,672	528,811
固定資産合計	555,519	806,880
繰延資産		
新株予約権発行費	1,751	541
繰延資産合計	1,751	541
資産合計	4,012,580	3,921,725

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当連結会計年度 (2026年7月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	490,561	448,449
未払金	10,192	33,080
未払法人税等	6,529	87,628
契約負債	666,552	650,398
株主優待引当金	32,560	43,640
その他	19,342	23,922
流動負債合計	1,225,737	1,287,119
固定負債		
長期借入金	1,628,558	1,275,105
その他	11,243	11,292
固定負債合計	1,639,802	1,286,398
負債合計	2,865,540	2,573,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	570,405	570,405
資本剰余金	486,905	486,905
利益剰余金	119,526	326,168
自己株式	△35,362	△35,362
株主資本合計	1,141,475	1,348,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,205	△7,703
その他の包括利益累計額合計	△1,205	△7,703
新株予約権	6,770	7,793
純資産合計	1,147,039	1,348,207
負債純資産合計	4,012,580	3,921,725

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)	当連結会計年度 (自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)
売上高	2,543,844	2,906,982
売上原価	2,036,933	2,071,386
売上総利益	506,911	835,596
販売費及び一般管理費	477,718	498,958
営業利益	29,192	336,637
営業外収益		
受取利息	2,307	6,283
受取配当金	0	3,548
為替差益	12,988	28,746
投資有価証券償還益	172	—
ポイント収入額	2,304	1,381
その他	252	1,650
営業外収益合計	18,024	41,611
営業外費用		
支払利息	15,008	23,454
新株予約権発行費償却	1,677	1,210
投資事業組合運用損	2,471	5,587
その他	178	2,345
営業外費用合計	19,335	32,597
経常利益	27,881	345,651
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,819
特別利益合計	—	2,819
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2,521
減損損失	—	7,613
特別損失合計	—	10,134
税金等調整前当期純利益	27,881	338,336
法人税、住民税及び事業税	11,779	87,435
法人税等調整額	6,583	17,062
法人税等合計	18,362	104,498
当期純利益	9,518	233,837
親会社株主に帰属する当期純利益	9,518	233,837

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)	当連結会計年度 (自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)
当期純利益	9,518	233,837
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135	△6,497
その他の包括利益合計	135	△6,497
包括利益	9,654	227,340
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	9,654	227,340
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	567,402	483,902	132,618	△35,280	1,148,642	△1,341	△1,341	3,822	1,151,122
当期変動額									
新株の発行（新株予約権 の行使）	3,003	3,003			6,007				6,007
剰余金の配当			△22,611		△22,611				△22,611
親会社株主に帰属する当 期純利益			9,518		9,518				9,518
自己株式の取得				△81	△81				△81
株主資本以外の項目の当 期変動額（純額）						135	135	2,947	3,083
当期変動額合計	3,003	3,003	△13,092	△81	△7,166	135	135	2,947	△4,083
当期末残高	570,405	486,905	119,526	△35,362	1,141,475	△1,205	△1,205	6,770	1,147,039

当連結会計年度(自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	570,405	486,905	119,526	△35,362	1,141,475	△1,205	△1,205	6,770	1,147,039
当期変動額									
新株の発行（新株予約権 の行使）	—	—			—				—
剰余金の配当			△27,195		△27,195				△27,195
親会社株主に帰属する当 期純利益			233,837		233,837				233,837
自己株式の取得				—	—				—
株主資本以外の項目の当 期変動額（純額）						△6,497	△6,497	1,023	△5,474
当期変動額合計	—	—	206,643	—	206,643	△6,497	△6,497	1,023	201,169
当期末残高	570,405	486,905	326,168	△35,362	1,348,117	△7,703	△7,703	7,793	1,348,207

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)	当連結会計年度 (自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	27,881	338,336
減価償却費	19,364	21,500
のれん償却額	3,681	3,681
受取利息及び受取配当金	△2,307	△9,831
支払利息	15,008	23,454
為替差損益 (△は益)	△10,172	△28,746
減損損失	—	7,613
契約負債の増減額 (△は減少)	54,739	△16,154
旅行前払金の増減額 (△は増加)	△244,535	△98,009
未収入金の増減額 (△は増加)	21,855	△2,456
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	32,560	11,080
未払金の増減額 (△は減少)	△27,539	22,888
未払費用の増減額 (△は減少)	△4,431	1,969
その他	△4,639	10,022
小計	△118,534	285,346
利息及び配当金の受取額	2,416	9,825
利息の支払額	△15,008	△23,454
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△55,429	2,788
営業活動によるキャッシュ・フロー	△186,555	274,505
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△28,764
無形固定資産の取得による支出	△20,120	△23,252
投資有価証券の売却による収入	—	12,456
投資有価証券の償還による収入	25,172	—
投資有価証券の取得による支出	△15,982	△270,572
差入保証金の差入による支出	△2,885	△3,000
差入保証金の回収による収入	—	2,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,815	△310,932
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,480,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△349,612	△495,565
親会社による配当金の支払額	△22,595	△27,119
自己株式の取得による支出	△81	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	5,964	—
新株予約権の発行による収入	2,991	1,023
新株予約権の発行による支出	△1,010	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,115,655	△421,661
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,172	28,746
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	925,455	△429,341
現金及び現金同等物の期首残高	1,699,048	2,624,504
現金及び現金同等物の期末残高	2,624,504	2,195,162

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、日本及び海外の包括的な戦略を立案し、旅行業を展開しております。また、その他事業として宿泊業を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	旅行業	その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,504,610	39,234	2,543,844
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	2,504,610	39,234	2,543,844
セグメント利益	17,403	11,789	29,192
セグメント資産	3,811,811	200,769	4,012,580
その他の項目			
減価償却費	16,382	2,981	19,364
のれん償却額	1,363	2,317	3,681
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	20,120	-	20,120

(注) 報告セグメントの利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益であります。また、報告セグメントの資産の合計額は、連結貸借対照表の資産合計であります。

当連結会計年度(自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	旅行業	その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,875,452	31,530	2,906,982
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-
計	2,875,452	31,530	2,906,982
セグメント利益	323,747	12,890	336,637
セグメント資産	3,721,790	199,935	3,921,725
その他の項目			
減価償却費	18,518	2,981	21,500
のれん償却額	1,363	2,317	3,681
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	23,616	28,400	52,016

(注) 報告セグメントの利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益であります。また、報告セグメントの資産の合計額は、連結貸借対照表の資産合計であります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)

単位(千円)

	報告セグメント		合計	調整額	合計
	旅行業	その他事業			
減損損失	7,613	—	7,613	—	7,613

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)

単位(千円)

	報告セグメント		合計	調整額	合計
	旅行業	その他事業			
前期末残高	8,977	20,277	29,254	—	29,254

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)

単位(千円)

	報告セグメント		合計	調整額	合計
	旅行業	その他事業			
当期末残高	—	17,959	17,959	—	17,959

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)	当連結会計年度 (自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)
1株当たり純資産額	754円70銭	887円17銭
1株当たり当期純利益	6円31銭	154円77銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	6円19銭	153円72銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)	当連結会計年度 (自 2025年8月1日 至 2026年7月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	9,518	233,837
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	9,518	233,837
普通株式の期中平均株式数(株)	1,508,970	1,510,884
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	28,136	10,349
(うち新株予約権(株))	(28,136)	(10,349)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	2023年6月28日開催の取締役会決議による第7回新株予約権 新株予約権の数 399個 (普通株式 39,900株) 2023年12月26日開催の取締役会決議による第8回新株予約権 新株予約権の数 499個 (普通株式 49,900株) 2024年9月6日開催の取締役会決議による第9回新株予約権 新株予約権の数 593個 (普通株式 59,300株)	2023年6月28日開催の取締役会決議による第7回新株予約権 新株予約権の数 399個 (普通株式 39,900株) 2023年12月26日開催の取締役会決議による第8回新株予約権 新株予約権の数 499個 (普通株式 49,900株) 2024年9月6日開催の取締役会決議による第9回新株予約権 新株予約権の数 593個 (普通株式 59,300株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。